

詩を読む

宮沢賢治を知る／
疑問を作ろう

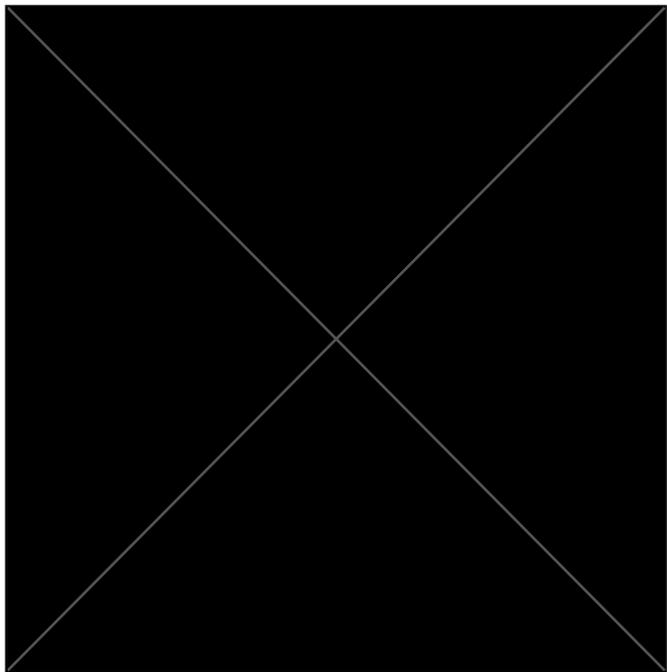
今回のゴール

- 論文に沿って詩を読む
- 詩・論文を適切に理解する

今日の流れ

- ①キーワードの卵(10分)
- ②目標とやることの確認(5分)
- ③宮沢賢治の説明(5分)
- ④詩の疑問 個人考察(10分)
- ⑤詩の疑問 グループ共有(10分)
- ⑥グループで一つの疑問確定(5分)
- (⑦論文の検討)

プロフィール



宮沢賢治 (1896~1933)

- **岩手県**の比較的裕福な家に生まれる。父の影響で**仏教**を信仰。
- 農学校の**教員**や地元の**農業**改良指導者として働く。37歳のとき、肋膜炎により逝去。
- 『**春と修羅**』(詩集)、『銀河鉄道の夜』『注文の多い料理店』(小説)など。「永訣の朝」(『春と修羅』)は**最愛の妹トシ**の死を悼んだ「無声慟哭」の一つ。

詩の疑問点を見つけるヒント

- ① 詩の**形式**に注目する
- ② 詩の**意味**に注目する
- ③ 詩の**背景**に注目する

①詩の**形式**に注目する

『樹下の二人』

→最初に短歌が挿入されることによる効果は？

→「あれが阿多々羅山、

あれが阿武隈川。」と繰り返されるのはなぜ？

何を強調したいの？

②詩の**意味**に注目する

『樹下の二人』

→最初の短歌「みちのくの 安達が原の 二本松 松
の根方に 人立てる見ゆ」の意味は？

→「松風」「松」という言葉が繰り返し登場するのはなぜ？
どういう意味があるの？

③詩の**背景**に注目する

『樹下の二人』

→「苦澁を身に負う」:どんな苦澁があったの？

→「あなたの生まれたふるさと」:ふるさととは高村にとってどういうものだったの？

詩の疑問点を見つけるヒント

① 詩の**形式**に注目する

② 詩の**意味**に注目する

③ 詩の**背景**に注目する